

環境の取り組みを今のところ考えているわけではないが、環境ということについて常日ごろ、例えば不要な電気の消灯であるとか、封筒、また紙の節約などこれは単なる経費の節減ということのみではなく広い意味での地球温暖化防止につながるものと思う。またゴミ袋の有料化によるゴミを出す量の減少、そしてひいてはゴミ処理に伴う燃料の減少、こういったつながりの中で地球温暖化防止に市として関れるものについては常に意識をしながら進めていきたいと思っています。



神代中学校に備えられているAED（自動対外式除細動機）

質問 厚生労働省は生活保護を受けるまでに至っていない、いわゆる「ボーダーライン層」への支援をするため今年度から「自立支援相談員」を市町村に配置するとしているが、配置されているのか、また本市の生活保護世帯数と人数を伺う。

回答 自立支援相談員の関係であるが現在本市には相談員は配置されていないが、その必要性については私どもも同感であるので、今後その配置について国、県とも相談しながらすすめていきたいと考えている。

生活保護世帯数、人数

については平成20年4月1日現在、313世帯、422人となっている。

質問 AED、いわゆる自動体外式除細動機の設置状況と当市の講習会の開催状況について伺う。

回答 AEDについては、仙北市の保有の状況は不十分だと感じている。現在市で把握している設置箇所は29ヶ所であり不足である。

この講習会は平成19年度で28回行われていて、受講した方々は578名

黒倉遺跡範囲確認調査を遺跡は一級品だ



沢田信男

質問 本庁舎整備の平成19年度の検討結果を開示、公表する考えはないか。

また任期中にめどをつけたことであるがめどがつく状態とは何

となっている。

質問 視覚障害の方々の情報取得のため音声コードの導入について伺う。

回答 本市としては平成20年度予算に視覚障害者用情報支援機器の購入費を計上している。設置場所も対象者の多い地域センター、また福祉事務所がいいのかといったことも検討していく。使用頻度、配置場所、必要台数、などこういったものも今後順次整備していきたいと考えている。

か。

回答 平成19年度に新庁舎整備中間報告をまとめており報告では、新庁舎の考え方、現庁舎の現状機能、庁舎の規模、建設適地、事業費の試算、建設の財源等報告を受けているので、更に精査し調査検討を進めている所であり、11月まではワーキンググループより報告書を頂くことと

考えている。調査の段階での情報の



縄文時代に数千年続いた黒倉遺跡

開示については、具体的な場所、建物等検討の対象になった時に、受ける側の考え方や思惑など混乱を招くおそれもあることから公表は差し控えた

と考えている。

質問 黒倉遺跡は縄文中期から後期にかけての集落跡のようだが、2回の調査により判明している内容について伺いたい。

今後、範囲確認調査や試掘調査をすべきと思うかどうか。

回答 縄文時代の前期の初頭から晩期ま

めどのつく状態とは議会や市民の意見を伺える段階の時と考えている。

今後の調査については仙北市の埋蔵文化全体像の計画の中で必要に応じて調査していきたい。

質問 指定管理者制度が縮減されているように見えるが、職員数に余裕のある仙北市の場合、外部委託の分だけ、かき増になるのではないかと

思っている。